



図書館だより

NO. 232 2017年9月号
(2017年9月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>



雑誌と図書のリサイクル市

保存期限の過ぎた 2015 (平成 27) 年分の週刊誌、2014 (平成 26) 年分の月刊誌、
図書館で受け入れをしなかった寄贈本などを無料でお持ち帰りいただけます。

日時 10月7日(土) 10時30分～14時00分

※9時30分より図書館正面の大画面付近にて入場待機列の整理をします

場所 さくらびありハーサル室 (はつかいち文化ホール1階)

※月刊誌はお一人につき10冊まで。(週刊誌・図書は無制限)

※英字新聞はお一人につき10日分まで。

※子ども向け雑誌等、永年保存の雑誌は対象外です。

※本を入れる袋をご持参ください。

※会場は土足禁止です。靴を入れる袋をご持参ください。

11時30分から
冊数制限は
なくになります。



今月の展示



《中央展示》

『認知症を知るために』

認知症の種類や特徴が分かる本や、家族にできること、周囲の人ができること、地域の取り組みなどを紹介した資料を展示しています。

協力：高齢介護課、地域包括支援センター、
廿日市市社会福祉協議会



《さくらびあ展示》

『神楽を見に行こう!』

9月24日(日)にさくらびあ大ホールで、「第17回さくらびあ神楽共演大会」が行われます。

この大会にちなんで神楽に関する資料を集めています。

《企画展示》

『美しい秋の植物』

秋には、春や夏や冬とは違う楽しみ方があります。そこで、どんぐりや落ち葉やもみじなどの図鑑や絵本をたくさん集めて展示しています。 ※職場体験に来た中学生が準備しました。

展示期間：8月25日(金)～9月27日(水)



中学生の職場体験がありました！



8月21日（月）～25日（金）の5日間、野坂中学校の生徒2名と、四季が丘中学校の生徒2名が職場体験に来ました。

貸出や返却、配架（返却された本を棚に戻す仕事）、本の修繕、ブックカバーかけなどの仕事の他、企画展示の準備や図書整理日の本の^{せせい}是正（棚の本を請求記号順に並べていく仕事）も体験しました。



*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『先生が本(おはなし)なんだね』伊藤明美／著 小澤昔ばなし研究所 015.8/4
- 『よしもとで学んだ「お笑い」を刑務所で話す』竹中功／著 にんげん出版 141.6/4
- 『女50歳からの100歳人生の生き方』小島貴子／著 さくら舎 159.6/コ
- 『名字でわかるあなたのルーツ』森岡浩／著 小学館 288.1/ト
- 『孫がASDって言われたら?!』ナンシー・ムクロー／著 梅永雄二／監修 上田勢子／訳 明石書店 378/ム
- 『いくつになっても、今日がいちばん新しい日』日野原重明／著 PHP エディターズ・グループ
PHP 研究所(発売) 498.3/ヒ
- 『ヨーグルトの冷たいお菓子と焼き菓子』若山曜子／著 世界文化社 596.6/ワ
- 『牛車で行こう!』京楽真帆子／著 吉川弘文館 682.1/キ
- 『字が汚い!』新保信長／著 文藝春秋 728.9/シ
- 『純ジャパニーズの迷わない英語勉強法』上乃久子／著 小学館 830.7/ウ
- 『神秘大通り』上 下 ジョン・アーヴィング／著 小竹由美子／訳 新潮社 933/7
- 『真ん中の子どもたち』温又柔／著 集英社 F/オ
- 『ゴースト』中島京子／著 朝日新聞出版 F/ナ



**新刊**

こどものほん



『びちくでごはん』

—かんたんおいしい防災レシピ—

粕谷亮美/文 岡本正子/監修 杉山薫里/絵 子どもの未来社 369/カ

小学5年生のあきらの家におばあちゃんがやってきた。ものしりなおばあちゃんが教えてくれたのは、電気・ガス・水道が止まった時に家にあるもので作る“びちくのこんだて”だった。

暑い季節と寒い季節 3 日分ずつのこんだてのほか、停電した時に冷蔵庫の温度を下げない工夫や、保冷剤の使い方、チラシコップの作り方など、いざという時役立つ豆知識がいっぱい！

9月1日は防災の日。あきらといっしょに“びちくでごはん”を作ってみませんか？ 巻末には備蓄チェックリストもついています。

『森のパンダ』

唐亜明/文 木下晋/絵 講談社 E/キ

ひっそりとした山あいの森で生まれたパンダの赤ちゃんは、日ごとに大きくなり、お母さんから木登りや竹の食べ方などを習います。赤ちゃんはお母さんと同じように、木の上で遊んだり寝たりするのが大好きになりました。子どもが1歳になったある日、独り立ちさせるため、お母さんは離れていなくなり、子どもはお母さんを探して1軒の民家に迷い込んでしまいます。

野生のパンダと人との関わりの実話をベースにした物語が、易しいひらがなの文と緻密な鉛筆画で描かれています。



ミニブックトーク

〇〇よ、とまれ！！

夏休みの宿題が終わらずに、「あー、時間よ、とまれ！！」と願った人はいませんか？

6歳の男の子ジェイは「コオロギよ、なきやめ！」と願ったに違いありません。

8月の終わり。ジェイは、丘や小川を散歩しながら木の実やインディアンの矢じりなどを次々に拾ってポケットに入れ、最後にコオロギを捕まえて家に帰りました。そして数日後、ポケットにコオロギを入れて学校へ行くと「リ……リ……」と鳴きだして、いくらポケットを押さえても鳴きやみません。そのうちとうとう、先生もその鳴き声に気が付いて…。

『ポケットのたからもの』レベッカ・コーディル/文 エバリン・ネス/絵 三木卓/訳 リブリオ出版 933/コ

あるとき、ねこに食べられてしまいそうになったひな鳥は、逃がしてくれたらケーキを分けてあげるとねこに約束して家へ帰りますが、おかあさん鳥が焼いてくれたケーキをひとつ残らず食べてしまいます。そこへねこがやってきたので、おかあさんとひな鳥は急いで壺の中に隠れます。ところが、ひな鳥はくしゃみがしたくてたまりません。

「くしゃみよ、とまれ！」と思ったこと、あなたもありますか？

『ひな鳥とねこ』(『こども世界の民話 下』内田莉莎子/[ほか]著 実業之日本社 908/コ)

むかしある国に、はげ頭になる呪いをかけられたお姫さまがいました。姫をふびんに思った王さまは願いの叶う魔法の小箱を姫に譲り、姫は「金色のかみが生えますように。かみの毛は毎日三センチのび、切るたびに、倍の速さでのびますように」と願いました。するとかみの毛は恐ろしい速さでのびて、姫はかみの毛に埋もれて動くこともできません。そこで王さまは、かみの毛を止めることができた王子をむこにする、と宣言します。

「かみの毛よ、のびるのとまれ！」この願いを叶えてくれる王子は現れるでしょうか。

『メリスンド姫-むてきの算数！』E.ネズビット/作 灰島かり/訳 高桑幸次/絵 小峰書店 933/ネ

人形劇がやってくる！

人形劇が「図書館まつり」にやってきます。

今年も、廿日市市内で活躍しているボランティア団体「人形劇コロコロ」「どんぐり座」による公演です。観覧希望の方は、往復はがきでお申し込みください。

日時 平成29年11月4日（土）

10:30～11:30 ※10:00 開場

場所 はつかいち文化ホール
さくらびあ リハーサル室

内容 人形劇「白雪姫」他

対象 3歳以上（保護者同伴）

※当日は、駐車場の混雑が予測されるため、
公共交通機関でお越しください。

《問い合わせ先》

〒738-0023 廿日市市下平良 1-11-1

はつかいち市民図書館

TEL (0829) 20-0333

《申込方法》

往復はがきに「人形劇」希望と、

①名前（申込者全員の氏名。ただし4名以内）、
②住所、③電話番号をご記入の上、返信面
に住所・氏名を記入して、はつかいち市民図
書館まで送付してください。

※3歳未満の子どもさんは、名前の記入は不要で
す。（場所確保のため、「3歳未満〇名」と記入
してください。）

《申込締切》

平成29年9月30日（土）消印有効

応募者多数の場合は、抽選の上、結果をはがきで
お知らせします。



9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4	5	6	7	8	9
9月9日（土）はパパがよむおはなし会です！						
10	11	12	13	14	15 ◎	16 ◆
17	18	19	20	21	22	23 ☆
24	25	26	27	28 休館	29	30

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 10時30分～

2回目 11時～

※整理券をお渡ししています。
相談カウンターにお申し付けください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

9月9日（土）は

パパがよむおはなし会です。



◆ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～大人

【時間】11時～

※場所はいずれも図書館会議室です。